

<令和4年度（第83回）東海支部総会報告>

東海支部長 林 敬昌（電気電子H13）

今年は新型コロナに翻弄され続けましたが、感染の波が周期的にあり、ピークを避けられるだろうと、令和4年11月26日(土) デンソー夢卵(ムーン)・ギャラリー見学と合わせて東海支部総会が開催されました。まずは刈谷駅から水素で走る燃料電池バス「SORA」に乗車し、車内の音の少なさに驚きました。

デンソー夢卵では有志社員によるソフトウェアコンテストや、TV番組でダウンタウン松本人志を驚かせたVR黒ひげ危機一髪、まだ世に出ていない開発品を使って、体感ゲームに仕立てるなど、技術を一般に分かりやすく認知してもらうなど、ものづくりの東海地方らしいイベントでした。

ギャラリーは社内施設の都合上、土日の一般開放は夢卵イベント時のみですので、普段、自動車のボディに隠れて見えない自社製品をしっかりとアピールさせてもらい、内燃エンジンから、ハイブリッド車、バッテリーEVに自動車のトレンドが変わっていても、存在感はあることを示せました。

今年の総会は、本部から Web 参加の紅露教授（建設H9）をお迎えし、刈谷プラザホテルにて、16名の参加をもって開催されました。Web 越しとはいえ、新潟大学の近況の様子、学生の雰囲気も含めて十分共有できました。

また、歓談の際には、新潟大学関連の YouTube チャンネルをスクリーンで紹介し、大学周辺が華やかに変わった様子も、伝えられたかと思います。

今年は総会準備のための会合が出来ず、幹事会社の有志による手作り感溢れる総会となりました。次年度はコロナを恐れる事なく、より盛大に開催できるように準備を進めてまいります。最後に、「四季の新潟」を皆で合唱し、それぞれの学生時代にタイムスリップ頂きました。

悠久会は、現役世代には開けた外の世界での交流、お互いの技術に触れあう場、時代を超えて母校に思いを寄せる機会ですので、こちらを読んで頂いた皆様と、次回お会いする事を楽しみにしています。

第1部：DENSO 夢卵・ギャラリー見学



第2部：東海支部総会

